

2023(令和5)年 No. 42

ももハウスだより

発行日 2023年8月11日(金)

発行所 NPO法人岡山聴覚障害者支援センター

「ももハウス」 TEL/FAX 086-250-4711

〒702-8057 岡山市南区築港新町1-15-16

Eメール momohausu.2017@gmail.com

みなさん、お変わりありませんか？

理事長 大江 朝美

うだるような暑い日が続きますが、みなさんお変わりありませんか？

熱中症になる人が多いのか、毎日のように救急車を見かけます。

熱中症にならないために、次の6つが大切です。

- ① のどが渇いてなくても、少しずつ水分を摂ろう。
- ② 日陰で休もう。
- ③ 家の中の温度が28度以上にならないように、冷房をつけよう。
- ④ 涼しい服装にしよう。 ⑤ 冷感グッズを使おう。(小型扇風機・接触冷感枕カバーなど)
- ⑥ 夜はしっかり眠ろう。



◆ では、もし熱中症になった時には！？

- ① 涼しい所に行く。
- ② 服をゆるめて安静にする。
- ③ クーラー・扇風機・うちわなどで体を冷やす。
- ④ 首・脇の下・足の付け根などを保冷剤等で冷やす。 ⑤ 冷たい飲み物を飲む。

それでも良くならない時には、すぐに「FAX 119番」や「電話リレーサービス」などで救急車を呼びましょう！ お体には充分気をつけてくださいね。



9月5日(火)の敬老会で、みなさんとお会いできることを楽しみにしています。



「ももハウス」ホームページ

左のQRコードからご覧ください。

「岡山聴覚障害者支援センター」と入力して検索してください。 見るができます。

【トピックス】 ～ももハウスの話題～

(1) 4年ぶりの「お花見バス旅行」！

4/4. 4年ぶりに玉野市深山公園へお花見に行きました。みなさんはバス旅行をととても楽しみにしていました。深山公園では買物や散策をして、記念写真を撮って楽しみました。昼食は宇野港近くの「たまの湯」で、会席料理を美味しく食べて帰ってきました。



たまの湯の入口にて

(2) 第12回「通常総会」開催

6/6. 3名の来賓をお招きして、きらめきプラザで通常総会を開催しました。会員94名のうち、54名が出席。委任状の32名と合わせて総会は成立。

昨年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画(案)、活動予算(案)をみなさんと協議し承認を受けました。また今回は役員の変更を行い、新しく10名の役員が決まりました。引き続き「ももハウス」へのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【来賓者名】

1. 岡山県議会議員 荒島俊造(あらしまとしなり)様。
2. 岡山県議会議員 佐古一太(さこ かずた)様。
3. 株式会社エムエム薬局

代表取締役 松浦琢磨(まつうらたくま)様。
ご祝電を 佐古一太様より、頂戴いたしました。



(3) 今年度の役員(理事、監事)を紹介

今回、選ばれた役員です。理事9名、幹事2名。
よろしくお願ひいたします。



(左から)
羽原、岡崎(監事)、
平岡、山本、中村、
大江、石田、浅野、
坂口、土屋、
欠席：藤田(監事)

(4) お金がふえる！マジックにビックリ！

総会の午後、「マジックショー(手品)」を見ました。
千円札をふやしたり、扇子の間から100円玉を次々
と出してビックリ！みなさん真剣に見ていました。



(5) 針仕事は96歳になっても、お手のもの



大正15年生まれの藤原
須賀子さん96歳。針仕事
が得意で繕い物をよくされ
ていました。ももハウスでは
経験と得意を活かしなが
らぞうきんを縫っています。

(6) みんなで、ぞうきんを縫っています

昔は何でも手縫いで作っていました。年齢を増し
ても縫い仕事は指先が覚えており、とても上手に
縫われます。ぞうきんがたくさん作れたので7/24に
近くの学童クラブへ寄贈しました。また、9/1には
岡山聾学校へ手縫いぞうきんを寄贈する予定です。



(7) 「ハレノワ」岡山芸術創造劇場へ見学

古くなった岡山市民会館に変わり表町の千日前に
新しく「岡山芸術創造劇場」(愛称・ハレノワ)が建ち
ました。9/1の開館日を前に、6/23 有志で見学に行き
ました。客席総数は、1,753席。オペラや演劇、伝統
芸能、歌謡曲などが楽しめる
劇場になっています。



(8) 第4回「将棋大会」開催

7/4. 第4回「将棋大会」を開催。将棋が好きな6名
が集まり、総当たり戦で試合をしました。とても白熱
した試合になりました。優勝は、第1回・第2回の優勝
者である佐藤勝政さん。

優勝した佐藤さんは「今回はみなさんが強くて
とても苦戦しました。なんとか勝つことができ
とてもうれしいです。」と述べられました。

次回の将棋大会は、10月3日(火)の予定です。



(9) おいしい！と好評の「どら焼き」

7/4. 将棋大会に参加しない女性の人たちで、
おやつにどら焼きを作りました。普段は午後の
活動があるため、時間をかけて作ることはでき
ません。この日は、時間にゆとりがあるため、
あんこがたっぷりのせた「どら焼き」を作しま
した。みなさんから、おいしい！と好評でした。



(10) 学童クラブに手縫いぞうきを寄贈

7/25。岡山労災病院の北裏にある学童クラブ、「NPO 法人タップ・南輝子どもステーション」へ手縫いぞうきと編んだアクリルたわしを持っていきました。夏休みでたくさんのおともたちから歓迎をうけ、お礼に音楽に合わせて踊るケン玉を披露してくれました。これからも、NPO タップと交流していく予定です。



(11) スマホ教室が楽しみ！ 佐藤佳代子さん

私たちの生活に欠かせないスマホ(スマートフォンの略語)。便利な機能をもっと知りたい、カメラやLINE(ライン)の使い方を教えてほしい、等の要望から、スマホ教室を毎月開催しています。毎回、熱心に学ばれている 佐藤佳代子さんの声を紹介し



「7/28のスマホ教室では、『分かりやすいメールの文章』を学びました。「短い文」で文章を作ることや「改行」、「空白」を使って「読みやすい文章」にすることを教わりました。また、ビデオ通話をする時のマナーについても学びました。

私はスマホ教室の時は、いつもノートに学んだことを書いています。私はタブレットを使っており、LINE(ライン)やビデオ通話の仕方を少しずつ覚えて楽しんでいます。」



(12) 高校生と楽しく交流しました！

3/7。「手話」を学ぶ「おおぞら高等学院」(北区奉還町)の高校生が、ももハウスに来ました。スタッフが授業で「手話」を教えています。生徒たちは学んだ手話を発表しようと、交流会を企画。昔懐かしの遊びや文字カードで言葉のゲームなどをしました。



ふだん若い人と接する機会の少ない高齢者はとても喜ばれていました。

今月の8/25と8/29の夏祭りには、生徒たちが来て交流会をします。



言葉のゲームで交流

(11) 瀬戸大橋温泉「やま幸^{こう}」と映画鑑賞

ももハウスでは、聴覚障害のある一人暮らしの若者たちが地域で孤立しないよう「余暇支援」を行っています。5/14に「やま幸」へ伊賀陽子さん、内田保さん、藤巻武男さんにスタッフが同行しました。温泉に入り、美味しい食事を食べて時代劇を楽しみました。男性の二人は、初めての経験でとても喜ばれていました。また8/12に男性二人は岡南シネマヘトム・クルーズが主演のスリルなアクション映画を楽しみました。



(12) かわいいメダカが仲間入り ^^)!

6月の始め。大家の高田さんより青色系の珍しいメダカを頂きました。

森政照一さんが水そうの掃除やエサやりを担当しています。



(13) 男性の参加者が増えました！

6月に入り男性の参加者が増えました。みなさんと活動やお喋りをして、美味しい昼食を食べて、楽しいひと時を味わっています。



「ももハウス 22 年を振り返って」

大江 朝美

平成 13 (2001) 年、手話サークルに来ていたろう者が高齢になって引きこもってしまったのを機に、ろう高齢者が地域の中で孤立しないように岡山市聴覚障害者協会と岡山市登録手話通訳者の有志でサポートを始めました。

当時は、今の高田宅のように決まった場所がなく、公民館や保健福祉会館、ふれあいセンターなどジプシーのように会場が転々と変わりました。口コミで50名以上集まった時もありました。



ある年、ろう学校の幼稚部にろう高齢者との交流会の計画を持ちかけてみたところ、快く引き受けてくれました。交流会では、幼稚園児が楽しそうにろう高齢者と交流する様子を見て、とても感動した思い出があります。

また、たくさんの失敗もありました。送迎担当者がいなくなったと勘違いした高齢者が、他の人の車に乗って帰ったことを知らずに、スタッフが館内中を探し回ったこと。

スマホも携帯もない時代で、連絡を取ることもできず炎天下でずっと待ったこと。担当者の連絡ミスで、送り迎えを二往復したことなど。

これまでいろいろなことがありましたが大きな事故やケガもなくホッとしています。

当時はスタッフも若く、ろう高齢者が安心して生活できる方法や楽しい行事の計画を夜遅くまで熱く議論していました。今は昼間にスタッフ会議や理事会を開いています。

この 22 年の間に数名の方が亡くなりました。お別れは悲しくつらいことですが、亡くなる寸前まで、ももハウスに参加して楽しまれていた方が多くおられたことは、とてもうれしい限りです。

今まで 22 年間で継続することができたのは、スタッフをはじめその家族や関係する方々のご理解とご協力があったからこそと感謝の気持ちでいっぱいです。これから先もみなさんが元気で、笑顔いっぱい過ごせるよう祈っています。今後ともよろしく願いいたします。



第 1 回 ろう高齢者の集い
東山公民館で開催。岡山市有楽園見
(2001 年 4 月 3 日)

「書道教室にたずさわって」

山本 恵

私は書道が好きで、いつか師範の免許を取り指導にあたりたいと思っていました。しかし、夢が叶わずあきらめていました。

そうしたなか、ももハウスの書道教室でお二人の先生のお手伝いをする事になり、今はとてもやりがいを感じています。



書道教室では「のぼす」、「はねる」、「止める」などの筆さばきや力の入れ具合などを、お二人の先生が教えられていることを、私は分かりやすく手話で伝えるように努めています。

また、みなさんから出る書き方の質問に対しては、分かりやすくお答えして、理解して書いてもらっています。練習は、半紙に折り目をつけて書きます。



なかには折り目が見えにくく気づかずに筆を進める方もいます。そのあたりもアドバイスをしています。

約1時間、みなさんは積極的に粘り強く最後まで書いています。その日の終わりには、「今日の一番」を先生と選んで部屋に掲示します。

みなさんは一生懸命に書いているため、その日の「一番良い一枚」を選ぶのはたいへんです。お二人の先生と相談して、「今日の一番」を選んでいきます。

最後に、私はいつも真剣に書道に向き合う高齢のみなさんの姿に感動しています。そして書道教室のお手伝いができることをとてもうれしく思っています。

【特集・「ろう学校の思い出」を語る】

前回に続いて、「ろう学校の思い出」を掲載。今回は、3人の方をご紹介します。

「楽しかったろう学校」 内田 一子

私は6歳でろう学校に入学しました。入学したけれど、学校がいやでしばらく休みました。

3年後、改めて小学部に入り、寄宿舎での生活が始まりました。

母と離れる生活は、とても寂しかったです。そんな時、寮母さんが私を抱きしめてなぐさめてくれました。抱きしめられて気持ちが落ち着いた時のことは、今でも覚えています。

夏休みや春休みは実家(美作市東谷上)に帰省しました。家族と過ごすお休みは、とてもうれしく楽しかったです。

小学校の同級生は30人いて3クラスありました。私は3年生まで友達と話すことはなく、一人で過ごしていました。4年生になって少しずつ友達と話すようになり、学校生活が楽しくなってきました。

私は国語が得意で、算数が苦手でした。小学部3年から6年まで、「口話の練習」をしました。先生はきびしくて、上手にできない時は、とてもきびしく叱られました。中学部では、学力テストの成績をもとに3クラスに分かれて勉強をしました。

私はB組でした。

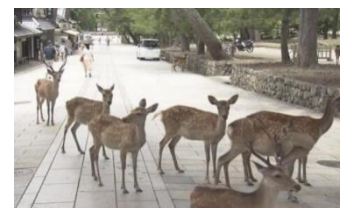
運動会はリレーと借り物競争が楽しかったです。

運動会には実家から、母と姉が巻きずしのお弁当を持って見に来てくれました。母と一緒に食べるお弁当は、とてもおいしかったです。

修学旅行では、小学部は奈良と京都に行きました。奈良で見た鹿がとてもかわいかったです。

中学部は九州へ行きました。大分県の別府温泉の「温泉たまご」がとてもおいしく、あっという間に食べてしまいました。

高等部は東京に行きました。東京タワーの上に登って下を見ると、とても怖かったです。今ではどれも楽しい思い出です。



「ろう学校の思い出」 松本 住子

ろう学校に入学したのは、8歳でした。自宅の総社から祖父に連れられて通学しました。

自宅から総社駅まで歩いて5分。総社駅から汽車に乗り岡山駅で宇野線に乗り換えて大元まで通っていました。

4歳下の妹がろう学校に入学してからは、妹と二人で通学していました。

私の母は、就実高校の近くにある聾唖学校に通っていました。その後、ろう学校が大元(西古松)に移転しました。あとで母から「私が小学校に入る年齢になったら、大元のろう学校に入学させようと思った」と聞きました。

今のももハウスは、ろう学校の高田先生の息子さんがされていた散髪屋さんです。高田先生は、とても優しくかったです。高等部の時、高田先生と一緒に修学旅行へ行っただけを今でもよく覚えています。

学校の勉強は、とても難しかったです。口話の勉強ばかりで困りました。テストは嫌いでした。友達との休憩時間が楽しかったです。



学校では、給食はなかったです。
毎日、お弁当を持って 通学していました。

母が病気で弁当が作れない時は、朝4時に起きてお弁当を作りました。

朝起きてすぐに、かまどに薪をくべてご飯を炊きました。フーフーと息を吹いて火をおこすのは、たいへんでした。



秋の運動会に両親が応援に来なかった時は、寂しかったです。母が作ってくれたお弁当を友達と一緒に食べました。

私は運動が苦手でした。運動会は好きではなかったですが、友達と楽しく過ごせるため良かったと思います。

私の同級生は男子が5人、女子が7人、途中から4人が入学して、合わせて16人でした。



その中に頭が良くて口話が上手な人もいました。

高等部では、和裁を選びました。先生から和裁を学ぶ生徒の中で、「優秀」とほめられたことが、とてもうれしかったです。

「自分なりに頑張ったろう学校」

森政 照一

実家では聞こえる兄弟が二人いましたが、私は話すこともなく、いつも一人で遊んでいました。

それでも忙しい母を助けるために、家の手伝いを一生懸命しました。両親はとても厳しかったです。



若い頃です

7歳でろう学校に入学しました。入学後も友達と遊ぶことはあまりなく、一人で鉄棒やブランコで遊んだり、地面に線を引いて石を投げ、その場所まで飛ばすという、自分なりの遊びをしていました。

寄宿舎の朝食は、ご飯とみそ汁とたくあんでした。夕飯は毎日違うメニューで、おいしいとは思えませんでした。残さず食べていました。

小林先生と藤原政江先生には、本当にいろいろとお世話になりました。

ろう学校の給食は、牛乳とコッパンとスープでした。スープはワカメ、野菜、鶏肉のスープがあり、いつもお腹いっぱいになっていました。



運動会では、リレーが好きでした。夏休みは実家の新見で過ごしうれしかったです。川遊びをしたり、魚釣りをして遊びました。



私は小学部1年から3年まで、夏休みの宿題ができなくてとても困りました。

近所の女の子を二人呼んで「宿題がわからない。教えてください。書いてください」と身振り手振りでお願いました。

すると二人はうなずいて、宿題を書いて教えてくれました。とてもうれしかったです。

小学部4年生から、宿題はやりませんでした。勉強が苦手で、宿題ができていないことを先生に話すのは恥ずかしいと思っていました。

夏休みが終わり宿題を出さないため、先生に叱られましたが、私はまったく平気でした。

成績優秀ではなかったため、テストで0点をとったこともあります。それでも後悔をすることはなかったです。

私は、「自分なりに頑張っていた」ことが、ろう学校の思い出です。



岡山県立聾学校 創立90周年記念誌より

【ももハウスの「運営委員」を紹介します】

運営委員は、毎月集まってももハウスの活動内容や企画などを話し合っています。

活動の希望や要望などございましたら、遠慮なく運営委員までお申し出ください。



(左より。山本、土屋、石田、中塚、三木、羽原、平岡)

夫と二人で、理容やろう協の仕事をごんぼってきました。今、娘や孫がとてもだいじにしてくれて、とても幸せです。1年に2回は、旅行や温泉に誘ってくれます。毎週土曜日に娘が来て、買い物に連れて行ってくれます。

ももハウスへは時々、きらめきプラザでの集いに参加していました。今年になり、玉野の松岡さんから勧められて行くようになりました。

ももハウスでは、友達にたくさん会えてうれしいです。これからも通ってみなさんと楽しく過ごしていきたいです。



【新しい仲間を紹介します】

山田 征子 さん

昭和 15 年生まれの 83 歳です。趣味は花づくり、ガーデニング、パッチワーク。

夫と娘一人、息子二人がいます。



小学部1年生から、ろう学校に入学しました。実家の万富から、大元まで車で通っていました。

3年生の時、ろう学校が火事になりました。翌朝、学校近くのおばさんから「火事があった」と聞きました。学校に行くと、先生から「今日は学校が休み」と言われて帰りました。

ろう学校卒業後は、西大寺の理容店で働きました。主人とは、ろう学校の時から、知り合いです。

野球をしている姿が格好よく、優しくあこがれの人でした。昭和 41 年に結婚し、娘の子育てを実家の母にいろいろ助けてもらいました。

3歳まで預かってもらい、玉野市八浜町大崎に引っ越してからは、親子三人で一緒に暮らしました。



山田 重郎 さん

昭和 11 年生まれの 87 歳です。根っからの「阪神タイガースファン」です。パチンコ好きです。



ろう学校高等部では、野球部でショートを守っていました。全国大会に出場して、2度、優勝しました。

ろう学校を卒業して、水島で理容の仕事をしました。玉野市八浜のトンボ学生服の向かいに、「トンボ」という名前の理容店を開いて、近くに家を建てました。

お店は 50 年間、地域のみなさまに愛されました。3年前に、お店をやめました。

元気で毎朝6時に起きて、家の周りを5キロ歩いています。

今年になって、玉野手話サークルの松岡さんから、ももハウスを勧められ、妻と一緒に行くようになりました。みんなと楽しく話しができてとてもうれしいです。

これからも元気で、ももハウスに通いたいです。



【 スタッフを紹介します 】

青木 ^{みえこ}三恵子さん

岡山市中区の高島駅近くに夫と住んでいます。

島根県出身で結婚を機に岡山に came ました。息子と娘が、東京にいます。ほかに高齢の猫と犬がいます。犬は散歩や食事の介護が必要になり大変です。しかし、猫も犬もとても可愛くて、私にとって大切な存在です。

ももハウスには、昨年10月から月2回来ています。私は人のお付き合いや、人前に立つことが苦手なため始めはとても緊張しましたが、最近は少しずつ慣れてきました。ももハウスへは、手話を学ぶ目的で came ましたが、今はみなさんとたくさんお喋りをして、もっと仲良くなりたいと思っています。私とみなさんを繋ぐ手話は、とても素晴らしいと思います。

手話がもっと上手になれるよう、これからもいろいろとたくさん教えてください。よろしくお願ひします。



【 お知らせ 】

「わたしの主張大会」^{しゅちょう}をします！
～ 私の話したいこと ～

1. 日時 9月5日(火) 10:00～12:00
2. 場所 きらめきプラザ (岡山市北区南方)
3. テーマ 「私のお話したいこと」
ろう学校の思い出、子育て、仕事、
家族のこと、ももハウスのこと …など
※ 内容は、自由です。
4. 発表時間 3分～5分

みなさん、挑戦しましょう！

「幸せを運ぶ鳥」コウノトリを発見！



東区政田地区にて

コウノトリは、国際的に希少な鳥で、絶滅危惧種に指定。全長約110cm、翼開長約180～200cm。

江戸時代まで各地で見られていたコウノトリ。明治に入り乱獲と開発などによる環境悪化により撃滅。写真は、会員が7月下旬～8月上旬に東区で複数回見かけて撮りました。昨年は中区の田んぼに同じ頃、3羽が飛んで来てニュースにもなりました。

現在、わが国で野外にいるコウノトリは約300羽。足環が装着され保護増殖と野生復帰への取り組みがされています。来年も幸せを運んでほしいですね。

【編集後記】

今年も猛暑の夏です。ももハウスのみなさんは、夏バテ、コロナ感染にも負けず元気に通われています。元気の秘訣(ひけつ)を、おたずねしました。

「手話で思いっきり、おしゃべりをする事」

「よく食べる事」、「ももハウスに来ること」…などうれしい返事が返ってきました。

ももハウスは今の福祉制度にない法人独自で運営している自主事業の活動です。

運営面や人材面などでたいへんな面もありますが、「ももハウス」という「制約されない自由な独自性」を活かして、聴覚障害のある人たちにとって、「大切な拠点であり、いごこちのよい居場所」として維持していきたいです。

(土屋 教子)



オクラの花